



AETO
Asian and Middle Eastern Studies, Part IA

Wednesday 7 June 2017 9 to 12.00 pm

Paper J3

Modern Japanese texts 1

Answer **all** questions.

Write your number **not** your name on the cover sheet of **each** answer booklet.

STATIONERY REQUIREMENTS

20 page answer booklet

Rough Work Pad

SPECIAL REQUIREMENTS TO BE SUPPLIED FOR THIS EXAMINATION

None

You may not start to read the questions printed on the subsequent pages of this question paper until instructed to do so.

SECTION A

(1) Translate the following passage from a **seen** text into **English** and answer the accompanying questions:

(a) [12 marks]

将棋

将棋が初めて日本の文献に登場するのは11世紀初めで、12世紀の貴族の日記の中にはしばしば現れます。盤の大きさや駒の数などの異なるさまざまな将棋があり、ルールにも変遷がありました。16世紀なかば以降には現在のような型が定着しました。駒の数がいちばん少ない「将棋」が主流になるにつれ、相手から取った駒を再利用できるという、世界でも例を見ないルール（チェスも再利用できませんが）も確立したようです。

当時、囲碁に比べ、将棋を楽しむ女性が少なかったのは、漢字が使われていたため、愛好者は貴族や僧侶などごく一部に限られ、囲碁や双六よりも、高尚とされてきました。

戦国時代には、織田信長や豊臣秀吉、徳川家康ら武将たちの間で流行しました。

徳川幕府成立後、将棋の第一人者として召しかかえられたのが、大橋宗桂おおはし そうけいです。その後、大橋家け、伊藤家いとうけ、大橋分家ぶんけの3家元が誕生、3家の中から歴代名人が選ばれることになりましたが、たとえ当主でも実力がなければ、名人位に就くことはできませんでした。後継者争いが激烈な争い将棋に発展することもあり、力つきて病死する者も出たほどでした。

YAMAMOTO MOTOKO, 'Shōgi', in Yamamoto Matoko, *Nihon no dentō bunka: Understanding Cultural Treasures of Japan* (2010), pp. 72, 74.

- (b) Explain the differences between 現在のようない型 and 確立したようです. Give one example of each in Japanese with English translation. [4 marks]
- (c) 選ばれることになりました Explain the use of ことになります and give two examples in Japanese with English translations. [4 marks]
- (d) 出たほどでした Explain the meaning of ほどでした and give one example in Japanese with English translation. [4 marks]

(TURN OVER)

(2) Translate the following passage from a **seen** text into **English** and answer the accompanying questions:

(a) [12 marks]

かつてわたしたち三人は、大学の読書サークルに入っていた。彩香とわたしは女どうし仲がよかった。そして、浩一は彩香に片思いしていた。彩香には別に恋人がいたのだ。

三人が卒業するとき、浩一はわたしを呼び出した。

「これから彩香さんが読む本のタイトルを、全部教えてもらえないだろうか」理由を訊くと、彼はこう言った。

「社会人になると、ぼくはもう彩香さんに会うことはないかもしれない。でもぼくは彼女のことを、いつまでも愛し続けるつもりだ。だからせめて、彼女が読む本をぼくも読んでみたい。同じ本の同じ文章を、彩香さんはどう感じただろう、なぜこの本を選んだのだろう、そう想像しながら読むだけで、ぼくは幸せだと思う」

そんな愛のかたちを、はじめはうまく理解できなかったけれど、彼が真剣であることは充分伝わってきた。

「ただこのことは、彼女には迷惑なだけだろうから内緒にしてほしい」と、彼は付け加えた。

彩香に秘密を持つことになるが、わたしは承諾した。

卒業してからも、わたしと彩香はときどき会ったし、電話やメールは頻繁にした。彩香は週にほぼ一冊のペースで本を読んだ。わたしはその話を聞くたびに、タイトルを浩一にメールした。

卒業して二年後、彩香は恋人と結婚した。わたしは浩一にそのことを電話で知らせた。彼はそれでも本のタイトルを教えるのを続けてほしいと言った。わたしはそのとおりにした。

KOBAYASHI TSUYOSHI, 'Dokusho sākuru', in Atōda Takashi (ed.), *Shōto shōto no hanataba* 1 (2009), pp. 240-41.

- (b) Explain the grammar in the phrase 教えてもらえないだろうか. In what way does this phrase differ from 教えてください? [4 marks]
- (c) 聞くたびに Explain the use of たびに and give one example sentence in Japanese with English translation. [4 marks]
- (d) 続けてほしい Explain the use of てほしい and give one example sentence in Japanese with English translation. [4 marks]

(TURN OVER)

(3) Translate the following passage from a **seen** text into **English**:

[12 marks]

寒さと疲れで脚はがくがくした。けれど私の体はふらつきながらも前に進んだ。踏切りの遮断機が鳴り、始発が近づいているようだったので眠る場所を捜して、海底に沈んでいるような早朝の街をふらふらとさまよい、公園を見つけ、ブランコで少し遊んでからすべり台の上で斜めに寝そべった。一晩中、ゆらめいていた白いいらいらする糸のもつれた感覚を、蜘蛛の巣のように振りはらい、私はうつらうつらしながら、自分を取り巻いている空気を過去の空気に変えていった。足の生えかけたおたまじゃくしを隣の水槽の中のざりがにに全部食べさせた六歳の私がいる、放課後の一年三組の教室。小学校の前にある歩道橋を渡るとどこも見慣れた家ばかりになる通町三丁目の通学路。パパが他人の家の庭から盗んできた仔犬、ペペ。隣の席の小早川君の野球帽からひとつひとつ盗んで、弟の帽子につけかえた野球バッジ。

目を醒ますと、空は赤いセロファン紙で覆われたように真っ赤で、私は自分がどこにいるのかわからなくなった。

その夜は、永遠に続く黒い河のような線路を歩く勇気が起こらず、線路沿いの道を歩いた。いつの間にか線路から離れてしまったようで、道が蛇のように波打ちはじめ、道の両脇に黒い大きな手のような木が覆い被さっていた。恐ろしかったが、私は自分を知っている人間がいる場所に戻るくらいなら死ぬまで走っていたほうがましだと思つた。学校の聖書の授業で教わった主の祈りを口ずさみ、道が行き止まりにならないことを願いながら、たてがみみたいに生えている雑草を踏みつけて走った。どれくらい道ではない場所を走っただろう？ いきなり目の前に冬の黒い海が見えた。

YŪ MIRI, 'Sakana ga mita yume', in *Sakana ga mita yume* (2000), pp. 18-19.

SECTION B

(4) Translate the following passage from an **unseen** text into **English**:

[40 marks]

高校生になると、すっかり環境が変わりました。中学時代のぼくを知っている人も、あまりいません。

ぼくは、今までの自分から脱出する、大きなチャンスだと思いました。このころ、ぼくは、新しい夢を追いかけはじめていました。そのためには、どうしても、明るい自分をつくりだす必要があったのです。

ぼくの新しい夢。それは、俳優になることでした。

中学三年生のとき、テレビで見た、ある俳優さんの演技がおもしろくて、大声をあげて笑いころげました。笑っているあいだは、学校でのいやなことを、わすれることができました。

それで、ぼくも、見る人を心の底から笑わすことができるような、俳優になりたい、と思ったのです。

人を笑わせたり、楽しませたりしようとしている自分が、今のままでいいはずはありません。

(ようし、高校生になったら、まわりの人と話ができるようになろう！
明るくふるまおう！)

そう心に決めて、高校に入学しました。

(TURN OVER)

入学第一日目から、作戦を開始しました。

笑顔を心がけて、クラスのみんなと積極的に話をするよう、つとめたのです。すると、気さくに話ができる友だちが、すぐにできました。そして、

二、三日のうちに、クラスのほぼ全員と、仲よくなることができました。そして、次の作戦は、人前で話をする度胸をつけることです。

ぼくは、クラスの全員がそろった教室で、国語の先生のものまねをしてみました。この先生の表情としゃべり方はおもしろいなあ……と、日ごろ、思っていたのです。

そうすると、みんなは、大笑いしながら、ぼくのものまねに注目してくれました。

(みんなが、笑ってる……!)

はじめて味わった、よろこびでした。

それまで、はずかしい思いをして、「人に笑われた」ことはありませんが、「人を笑わせた」ことは、一度もありませんでした。ものまねなど、やったこともありませんでした。

みんなの前で、おしゃべりするのには、とても勇気ゆうきのいることでした。けれども、このものまねのおかげで、「いつこくは明るい」というイメージが、友だちのあいだで定着ていちやくしました。

その後も、生徒指導せいとしどうの先生や校長先生、それに、テレビに出ている有名人のものまねを、みんなに見てもらいました。校長先生のものまねは、全校生徒の前でおこなう機会があり、学年をこえて評判ひやうばんになりました。

気がつくと、ぼくは、学校の人気者にんきになっていました。

もちろん、ものまねがうまいから俳優はいゆうになれる……わけではないことは、ぼくにもわかっていました。

でも、中学時代、ほとんど友だちがいなかった、ぼくにしてみれば、大きな進歩しんぽです。ぼくのおしゃべりを聞いて、人がよろこんでくれるのですから。

ぼくは、俳優はいゆうになるという夢に向かって、少しずつ歩みあゆはじめました。

(TURN OVER)

脱出する <i>escape from</i>	国語＝日本語
追いかける <i>chase, follow</i>	ものまね <i>mimic</i>
俳優＝役者	表情 <i>facial expression</i>
演技 <i>acting</i>	日ごろ＝いつも
底 <i>bottom</i>	注目する <i>have an interest in</i>
ようし <i>all right!</i>	勇氣 <i>courage</i>
ふるまう <i>behave</i>	いっこく <i>name of the author</i>
作戦 <i>strategy</i>	定着する <i>establish</i>
心がける <i>keep in mind</i>	生徒指導 <i>student counselling and guidance</i>
積極的に <i>positively, actively</i>	校長先生 <i>school principal</i>
つとめる＝がんばる	学年をこえる <i>across different school years</i>
気さく <i>frank, candid</i>	評判になる <i>get a name for</i>
ほぼ＝ほとんど	ぼくにしてみれば <i>looking at it from my point of view</i>
度胸をつける <i>have courage</i>	

IKKOKUDŌ, *Boku wa, itsu demo boku datta* (2012), pp. 104-8.

END OF PAPER

Page 10 of 10